



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

株主のみなさまへ

第105期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第105期（2024年3月期）の営業概況をご報告し、次期の見通しについてご説明させていただきます。ご一読を賜り、当社へのご理解を一層深めていただければ誠に幸いに存じます。

株主のみなさまには、今後とも倍旧のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 片岡 和喜



第105期の営業概況

当連結会計年度における事業環境は、新型コロナウイルス感染症による行動規制の緩和が定着し雇用・所得環境の改善等、経済活動に緩やかな回復が見られましたが、世界的なインフレ、地政学リスクや中国経済の減速等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループの取引業界別の経営成績としましては、電子・半導体業界及び機械業界では、デジタル機器の在庫調整による電子部品需要の低迷と、設備投資抑制が影響し関連工具の売上高は前年同期を下回りました。一方、輸送機器業界では、航空機・自動車関連で生産回復が進んだことに加え、自動車部品生産の再編需要を取り込み、関連工具の売上高は前年同期に比べ増加しました。石材・建設業界では、大規模な工事需要は少なかったものの、高速道路の補修や解体工事等を中心に関連工具の売上高は、前年並みに推移しました。また、注力製品であるパワー半導体用の関連工具の需要は海外を中心に堅調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、386億53百万円（前期比1.7%減）となりました。一方、利益面におきましては、経費の増加等により、営業利益は15億26百万円（前期比39.1%減）、為替差益の増加等により、経常利益は24億08百万円（前期比26.5%減）となり、投資有価証券売却益の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は21億09百万円（前期比23.7%減）となりました。

期末配当は1株当たり15円を実施し、中間配当の同15円と合わせ、年間配当額は同30円となりました。

次期の見通し

次期につきましては、緩やかな景気回復が期待される一方、地政学リスク、中国経済の鈍化、急激な為替変動など経済情勢は不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、脱炭素社会に向けた自動車の電動化や省電力用途で今後大きく需要の伸びが見込まれる電子・半導体関連、また自動車・機械部品関連業種の製品に対して、供給能力増強に向けた国内工場の生産再編を進めて、今後の需要拡大局面に備えています。

開発面においても、ユーザーニーズを満たす開発体制の強化を進め、顧客や市場の変化に対応した製品開発のスピードアップを行っています。また、今後一層の成長が見込まれる注力製品であるパワー半導体用の関連工具の開発・供給体制の強化を継続しています。

海外においては、昨年営業拠点を開設したインド、ベトナムをはじめ海外13拠点での製造、販売サービスの拡充を進めてまいります。

第106期の連結業績予想（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

売 上 高	42,500百万円	（当期比 10.0%増）
営 業 利 益	3,100百万円	（当期比 103.0%増）
経 常 利 益	3,500百万円	（当期比 45.3%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	2,600百万円	（当期比 23.3%増）
年 間 配 当 金	1株当たり30円（中間15円、期末15円）	

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンド及びCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったモノづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

電子・半導体業界

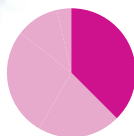
Electronics and Semiconductor

電子・半導体業界では、デジタル機器の在庫調整による電子部品需要の低迷により、関連工具の販売は減少しました。一方、自動車の電動化や省電力対応に向けたパワー半導体関連の需要が伸び、関連工具の販売を補ったことから、売上高は146億84百万円（前期比0.5%減）となりました。



売上構成比

38.0%

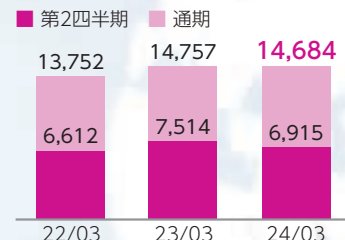


売上高

14,684百万円



売上高（単位：百万円）



輸送機器業界

Transportation

自動車業種では、部品不足の解消で生産回復が進んだことに加え、世界的なEV化の進展に伴う自動車部品の生産再編需要を取り込んでいます。また、航空機業種では、移動制限の緩和による需要の回復や工具品質の再評価によるシェアアップも進み関連工具の販売が増加したことで、輸送機器業界向け売上高は92億04百万円（前期比11.1%増）となりました。

売上構成比

23.8%

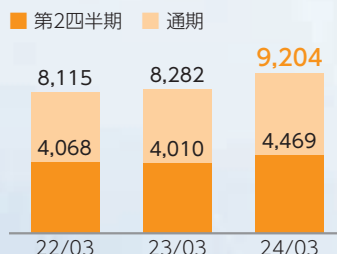


売上高

9,204百万円



売上高（単位：百万円）



機械業界

Machinery

工作機械業種では、半導体用工作機械に付随する工具に一定の販売成果があったものの、軸受、セラミックス業種では、電子・半導体業界が電子部品需要や設備投資が低迷したことで、関連工具の販売が大きく減少しました。また、工具業種では中国需要の低迷や一般機械部品の生産の停滞で関連工具の販売は減少し、機械業界向け売上高は94億34百万円（前期比11.3%減）となりました。

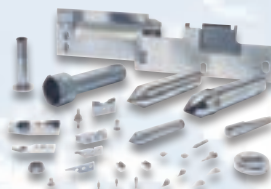
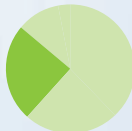


売上構成比

24.4%

売上高

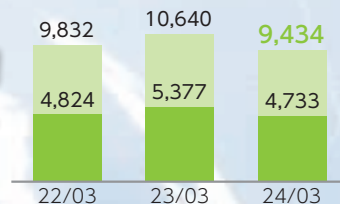
9,434百万円



売上高（単位：百万円）

■ 第2四半期

■ 通期



石材・建設業界

Stone and Construction

国内の建設業種では、高速道路の補修工事をはじめ、国土強靱化等の施策もあり、公共工事、民間工事ともに堅調に推移しました。一方、石材業種では、墓石、建築材料等の需要低迷が継続し、関連工具の販売は減少し、石材・建設業界向け売上高は42億18百万円（前期比0.5%減）となりました。

売上構成比

10.9%

売上高

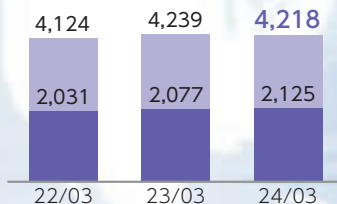
4,218百万円



売上高（単位：百万円）

■ 第2四半期

■ 通期



その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は11億11百万円（前期比20.7%減）となりました。



売上構成比

2.9%

売上高

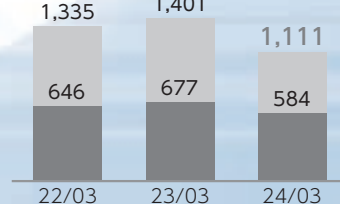
1,111百万円



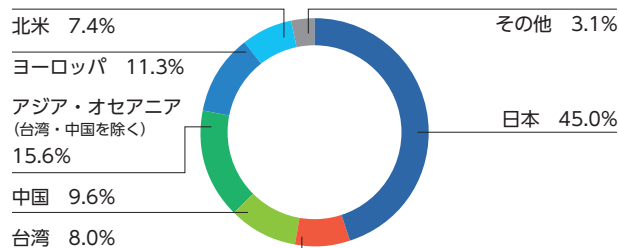
売上高（単位：百万円）

■ 第2四半期

■ 通期



売上構成比



日本

(単位:百万円)

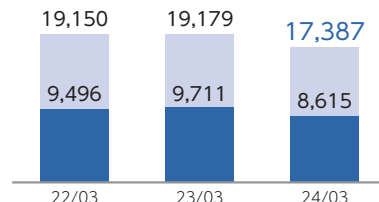
■第2四半期 ■通期

売上高

17,387 百万円

売上構成比

45.0%



台湾

(単位:百万円)

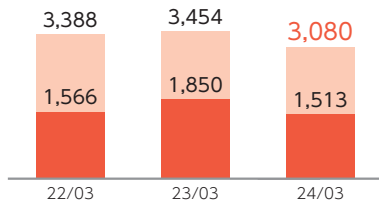
■第2四半期 ■通期

売上高

3,080 百万円

売上構成比

8.0%



中国

(単位:百万円)

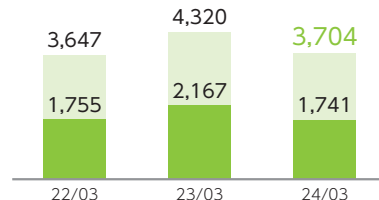
■第2四半期 ■通期

売上高

3,704 百万円

売上構成比

9.6%



アジア・オセアニア (台湾・中国を除く)

(単位:百万円)

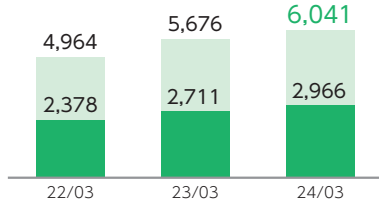
■第2四半期 ■通期

売上高

6,041 百万円

売上構成比

15.6%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

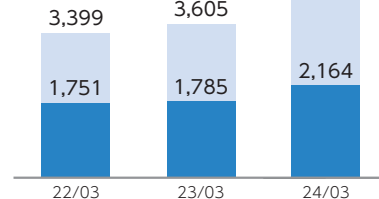
■第2四半期 ■通期

売上高

4,366 百万円

売上構成比

11.3%



北米

(単位:百万円)

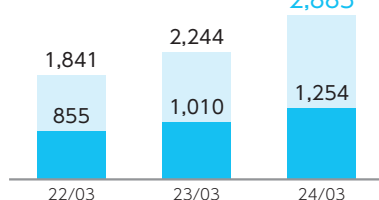
■第2四半期 ■通期

売上高

2,885 百万円

売上構成比

7.4%



その他

(単位:百万円)

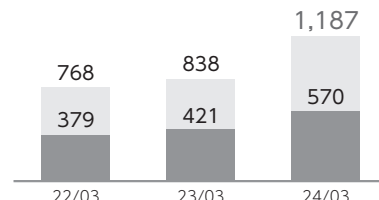
■第2四半期 ■通期

売上高

1,187 百万円

売上構成比

3.1%

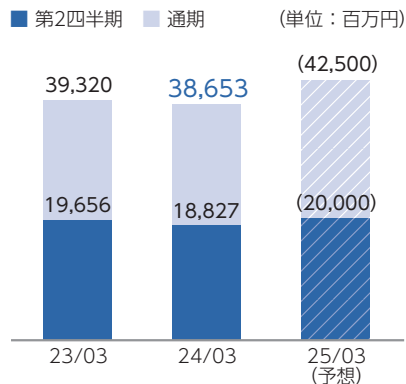


当期の
業績のポイント

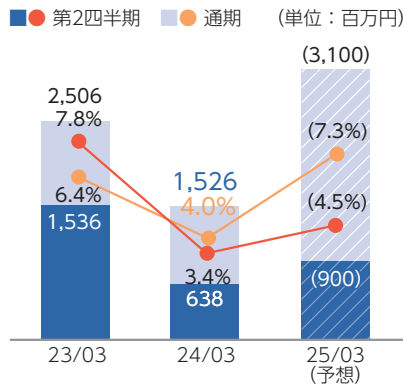
売上高
営業利益
親会社株主に帰属
する当期純利益
年間配当金

38,653 百万円 (前期比 1.7% 減↓)
1,526 百万円 (前期比 39.1% 減↓)
2,109 百万円 (前期比 23.7% 減↓)
30 円 (前期比 4円 増↑)

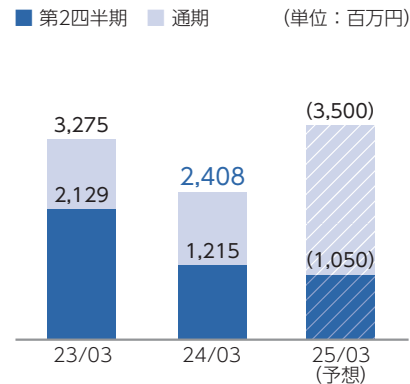
売上高



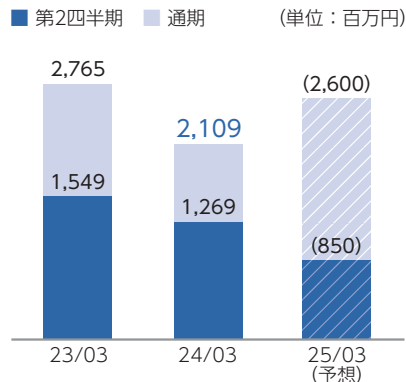
営業利益及び売上高営業利益率



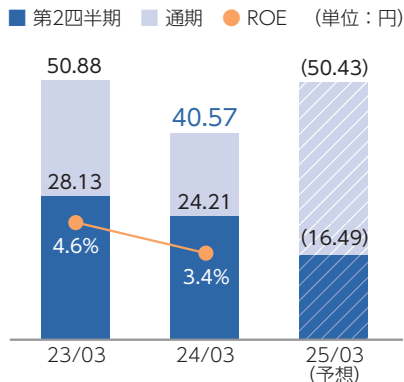
経常利益



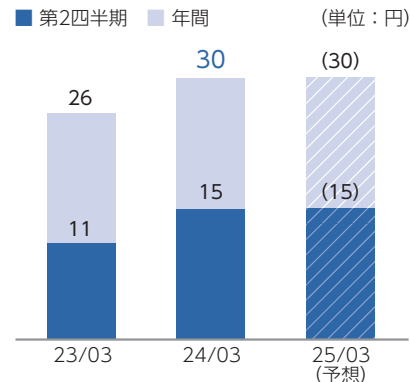
親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益



1株当たり当期 (四半期) 純利益 / ROE

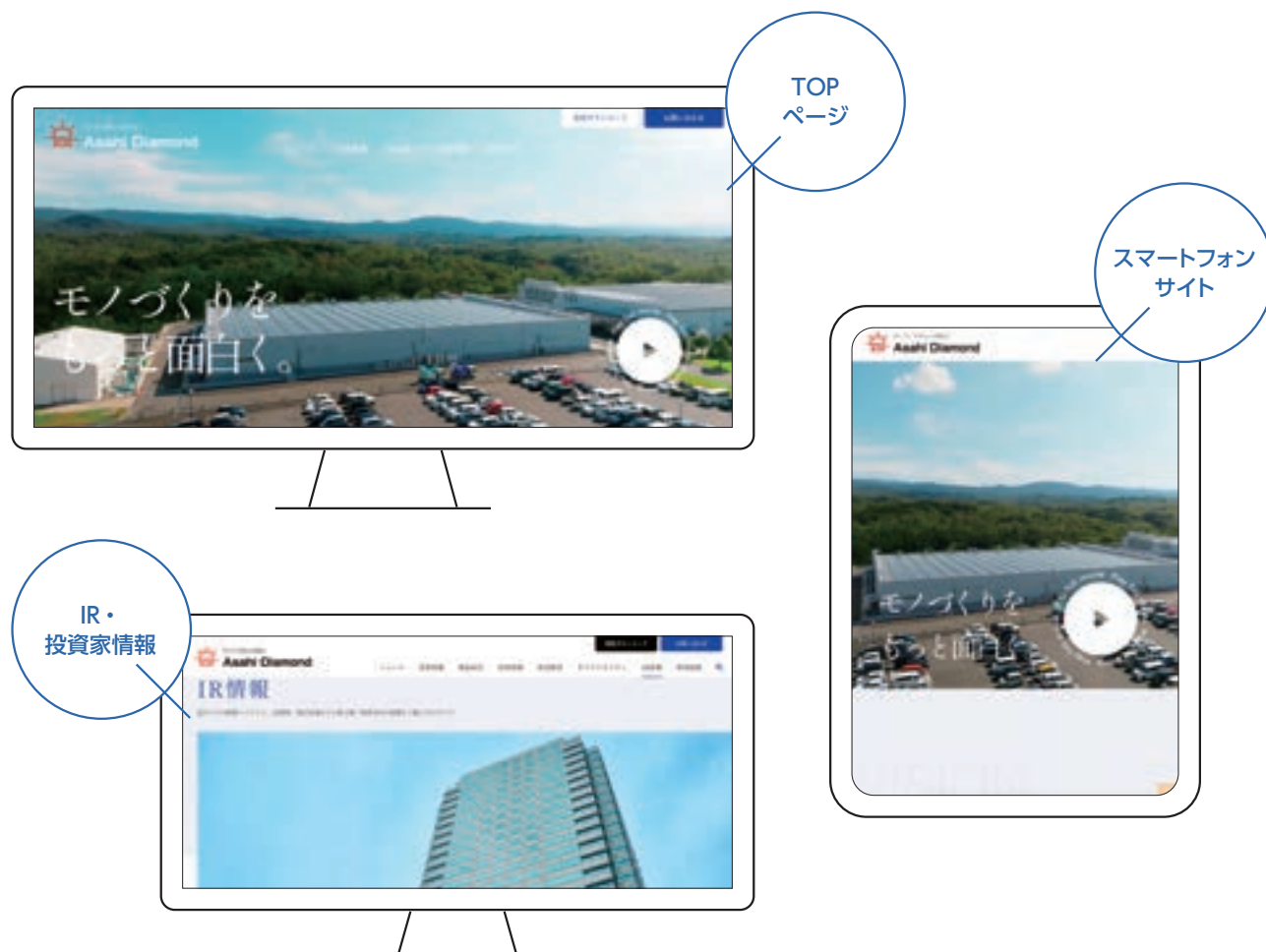


1株当たり配当金



ホームページをリニューアルしました

2024年4月1日にホームページを全面リニューアルしました。IR情報をはじめとして、コンテンツを充実させるとともに株主の皆様が見やすく、アクセスしやすいよう、リニューアルを実施しました。IR情報だけではなく、製品や展示会への出展情報などコンテンツを充実させてまいります。



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2024.3.31	前期 2023.3.31
資産の部		
流動資産	32,601	34,301
固定資産	41,299	39,876
有形固定資産	26,655	25,061
無形固定資産	351	190
投資その他の資産	14,292	14,623
資産合計	73,901	74,177
負債の部		
流動負債	6,185	5,255
固定負債	3,722	6,039
負債合計	9,908	11,295
純資産の部		
株主資本	54,829	56,032
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	43,846	45,048
自己株式	△ 248	△ 247
その他の包括利益累計額	7,412	5,140
その他有価証券評価差額金	3,699	3,645
土地再評価差額金	196	196
為替換算調整勘定	2,094	1,283
退職給付に係る調整累計額	1,422	15
非支配株主持分	1,752	1,709
純資産合計	63,993	62,882
負債純資産合計	73,901	74,177

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2023.4.1 から 2024.3.31 まで	前期 2022.4.1 から 2023.3.31 まで
売上高	38,653	39,320
売上原価	28,655	28,790
売上総利益	9,998	10,530
販売費及び一般管理費	8,471	8,024
営業利益	1,526	2,506
営業外収益	904	797
営業外費用	23	27
経常利益	2,408	3,275
特別利益	880	555
特別損失	181	—
税金等調整前当期純利益	3,106	3,830
法人税等	923	973
当期純利益	2,183	2,856
非支配株主に帰属する当期純利益	73	91
親会社株主に帰属する当期純利益	2,109	2,765

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2023.4.1 から 2024.3.31 まで	前期 2022.4.1 から 2023.3.31 まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,839	4,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,505	△ 1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,121	△ 3,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	215	266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 3,570	840
現金及び現金同等物の期首残高	16,389	15,548
現金及び現金同等物の期末残高	12,818	16,389

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 ➡ <https://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR



株式の状況

発行可能株式総数	190,300,000株
発行済株式の総数	51,888,600株
株主数	15,772名

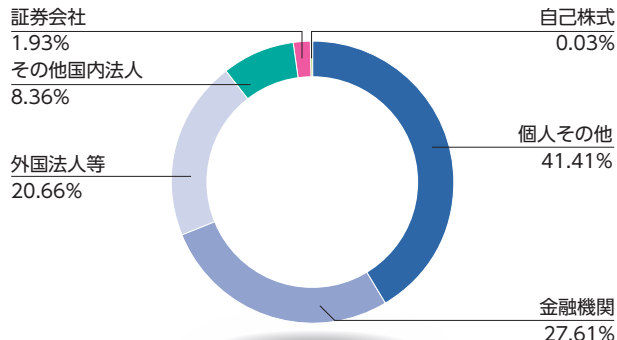
大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,189	15.79
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,648	7.03
旭ダイヤモンド社員持株会	2,007	3.87
CEPLUX-THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	1,600	3.08
旭ダイヤ共栄持株会	1,338	2.58
ユニオンツール株式会社	1,310	2.53
日本生命保険相互会社	1,039	2.00
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	834	1.61
JP MORGAN CHASE BANK 385781	682	1.32
MSIP CLIENT SECURITIES	476	0.92

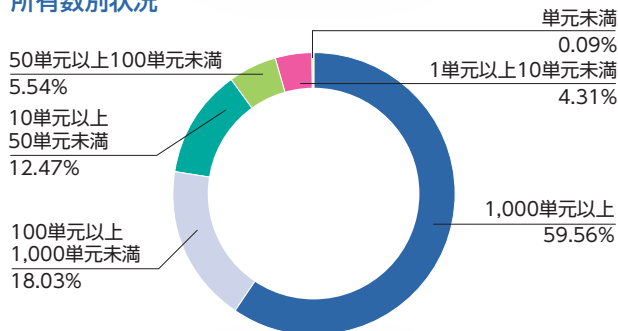
(注) 1. 持株比率の計算は、自己株式13,812株を除いて計算しております。

(注) 2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

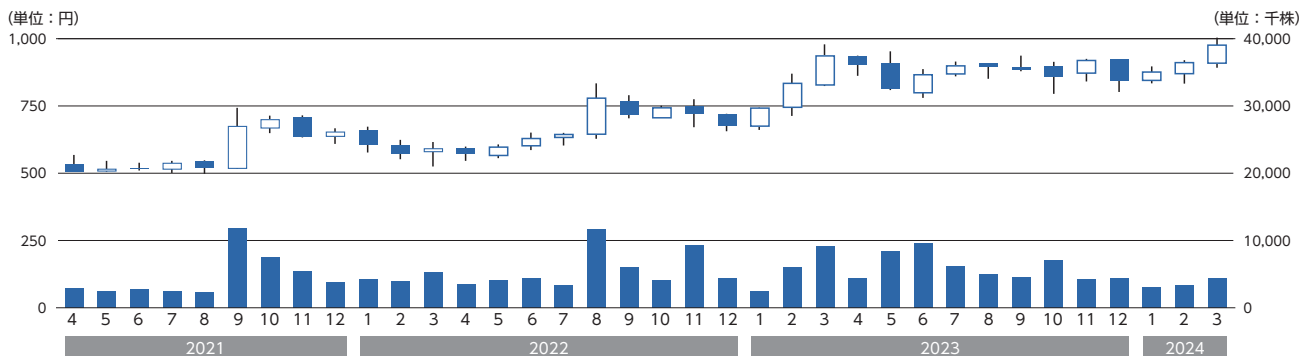
所有者別状況



所有数別状況



株価・出来高推移



会社概要

商 号 旭ダイヤモンド工業株式会社
 英 文 社 名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号
 設立年月日 1937年10月9日
 資 本 金 4,102,188,450円
 従 業 員 数 1,001名 (連結 2,059名)

役員 (2024年6月26日現在)

取締役

代表取締役社長	片 岡 和 喜
代表取締役常務	原 智 彦
常 務 取 締 役	藍 敏 雄
取 締 役	萩 原 利 昌
取 締 役	阿 部 英 夫
取 締 役	松 田 順 一
社 外 取 締 役	小 山 修
社 外 取 締 役	市 川 祐 子
社 外 取 締 役	川 尻 恵理子

監査役

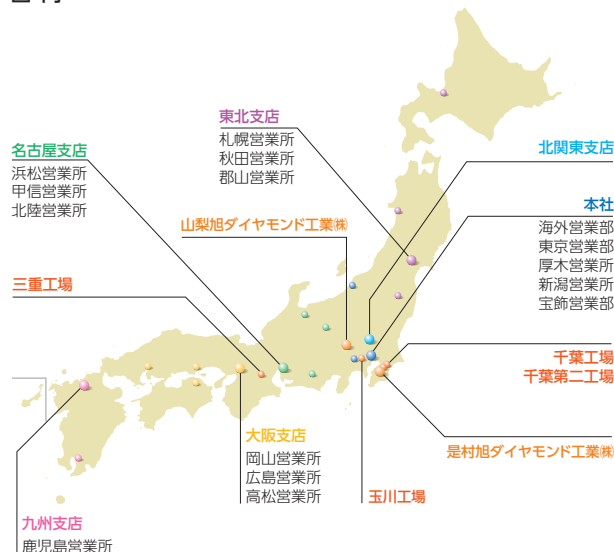
常 勤 監 査 役	松 崎 剛 実
社 外 監 査 役	大 高 由紀夫
社 外 監 査 役	川 嶋 誠 人

執行役員

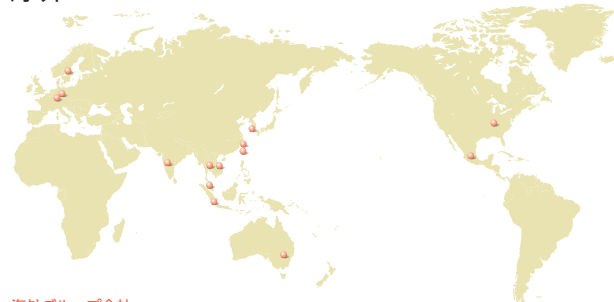
執 行 役 員	松 川 英 樹
執 行 役 員	佐 藤 公 一
執 行 役 員	澤 田 穰
執 行 役 員	日下部 均
執 行 役 員	川 合 宏 明
執 行 役 員	高 橋 智 樹
執 行 役 員	水 谷 圭 一
執 行 役 員	兼 本 憲 一

ネットワーク

国 内



海 外



海外グループ会社

上海旭ダイヤモンド工業	(中国)	旭ダイヤモンドオーストラリア	(オーストラリア)
台湾旭ダイヤモンド工業	(台湾)	旭ダイヤモンドアメリカ	(アメリカ)
新韓ダイヤモンド工業	(韓国)	旭ダイヤモンドメキシコ	(メキシコ)
旭ダイヤモンドタイランド	(タイ)	旭ダイヤモンドヨーロッパ	(フランス)
旭ダイヤモンドインドネシア	(インドネシア)	旭ダイヤモンドドイツ	(ドイツ)
旭ダイヤモンドマレーシア	(マレーシア)	旭ダイヤモンドスウェーデン	(スウェーデン)
旭ダイヤモンドインド	(インド)	旭ダイヤモンドベトナム	(ベトナム)

株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.asahidia.co.jp/) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



WEB サイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

